

## 学びのプラン

(単元名) 作者を調べて作品を深く味わおう

(教材名) 教科書 P204 「走れメロス」 太宰治

### 1. 単元で育成する資質・能力

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
<p>①抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。</p> <p>(1)エ</p>	<p>②表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすこと。</p> <p>目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈すること。</p> <p>文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすること。</p> <p>B 書くこと(1)オ C 読むこと(1)イオ</p>	

本単元で取り上げる言語活動

作者について調べることにより、作品をより深く読み味わうとともに、読み深めた内容を班で共有し伝え合い、より伝わるように書き直す活動。

### 2. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①作者について調べ、様々な作品を読むことにより語彙を豊かにしている。</p> <p>(1)エ</p>	<p>②調べた内容を班で共有し、より読み手に伝わるように書き直している。</p> <p>本文の記述や、作者の生い立ち、執筆当時の歴史などを調べ、わかったことや表現したかったことなどをまとめ、事実と意見を分けながら情報を整理している。</p> <p>作者の生い立ちなどから分かったことをもとに、作品に書かれていないことまで考えを広げている。</p> <p>B 書くこと(1)オ C 読むこと(1)イオ</p>	<p>③作者について調べることで本文に書かれている以上のことを読み取り、自分の考えを広げようとしている。</p>
<p>作者の生い立ちや当時の時代背景を調べたり、作者が書いた他の作品などを読んだりすることで、新しい言葉をたくさん知り、使えるようにしましょう。</p>	<p>班の中で調べることを分担し、調べた内容を共有することで、「走れメロス」がどのような作品なのか、本文に書かれていることだけではなく、調べることで見えてくることも踏まえ書いてみましょう。また、まとめた</p>	

	<p>内容を読み合い、より伝わりやすくする表現を考えて修正してみましょう。</p> <p>作者の生い立ちや時代背景などを調べ、事実と、そこから考えた自分の意見を明確に分けながら情報をまとめましょう。</p> <p>調べた内容や共有した内容をふまえて、作品を読む前と読んだ後、作者を調べる前と調べた後で広がった自分の考えをまとめてみましょう。</p>	
--	--	--

### 3. 学習のプロセス

次	時	授業の中で身に付けたい力 評価の方法	学習内容
第 一 次	1	<p>【身に付けたい力】</p> <p>1 作者について項目ごとに調べ、複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、事実と意見を分けたりしながらまとめる力。</p> <p>【評価の方法】</p> <p>○ワークシートの記述を確認することを通して評価する。</p>	<p>1 単元の学習内容を共有する。</p> <p>2 ワークシートを確認する。</p> <p>3 場面ごとに「走れメロス」の範読を聞く。</p> <p>4 本文から分かることを紙のワークシートにまとめて共有する。</p> <p>5 ワークシート例をもとに、太宰治の他の作品や作者の生い立ちなど、何を調べるか方向性を定める。</p> <p>6 「第一次振り返り」を記入する。</p>
	2		
	3		
<p>《振り返り》※「走れメロス」を読むとともに、作者について調べることで気づいたこと・考えたことなど</p> <p>・今回は、場面ごとに範読を聞きながら本文を読みワークシートにまとめて内容を整理した。その後太宰治の生い立ちや他の作品について調べて振り返りを書いた。最初は友情の強さを描いた物語だと感じたが読み直すとメロスが途中で迷ったり弱気になったりする場面が印象に残った。作者の太宰治について調べると、人間の弱さや孤独を多く描いてきた作家だと分かった。そのことを知ってから考えると「走れメロス」は友情の物語であると同時に、「人は弱い、それでも信じていることができる」ということを伝えている作品だと感じた。作者や時代背景を知ることで、作品をより深く理解できることが分かった。</p>			
第 二 次	4	<p>【身に付けたい力】</p> <p>2 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりする力。</p> <p>【評価の方法】</p> <p>○ワークシートの記述を確認することを通して評価する。</p>	<p>1 前時の復習をする。</p> <p>2 ワークシート例をもとに、本文の内容や他の作品から読み取れたこと、作者の生い立ちなどをまとめる。</p> <p>3 調べた内容をグループで共有する。</p> <p>4 共有した内容をもとに、ワークシートを仕上げる。</p> <p>5 「第二次振り返り」を記入する。</p>
	5		
	6		
	7		

<p>《振り返り》※グループ内で共有したことをもとにワークシートを作成することで気付いたこと・考えたことなど</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回は、前時の内容を確認したあと、本文や他作品、作者の生い立ちについてまとめグループで共有した。自分では気づかなかった意見を聞くことができ、特にメロスの弱さや王の孤独についての考えが深まった。また、作者の太宰治が人間の弱さを多く描いてきたことを知り、「走れメロス」は単なる友情物語ではなく人間の本質を描いた作品だと改めて感じた。グループでの話し合いを通して、作品はさまざまな視点から読むことで理解が深まることが分かった。今後も他の人の意見を大切にしながら学習していきたい。</li> </ul>			
<p>第三次</p>	<p>8 9</p>	<p>3 表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだす力。</p> <p>4 作者について調べることにより、作品をより深く読み味わうとともに、読み深めた内容を班で共有し伝え合い、より伝わるように書き直すことに向けた粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。</p>	<p>1 前時の復習をする。</p> <p>2 レポートを読み合う。</p> <p>3 改善点を伝え合う。</p> <p>4 赤字で改善する。</p> <p>5 ワークシートを提出する。</p> <p>6 「第三次振り返り」、「4. 振り返り」を記入する。</p>
<p>《振り返り》※レポートを改善することで気づいたこと・考えたことなど</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回は、前時の復習をした後、レポートを読み合い改善点を伝え合った。自分では気づかなかった表現の分かりにくさや、理由が十分に書けていない部分を指摘してもらった。特に、「作者と作品の関係」が弱かったことに気づき、太宰治の生い立ちと「走れメロス」の内容をより結びつけて書き直した。その結果、ただの感想ではなく根拠のある考察に近づいたと思う。友達のレポートを読むことで、新しい視点にも気づくことができた。今回の活動を通して文章は書いて終わりではなく見直しや改善が大切だと学んだ。</li> </ul>			

#### 4. 振り返り（単元を終えて）

①この単元全体で理解したことや、授業前と比べできるようになったこと、その力を向上させるためには何をどのようにすればいいかなど。

【単元全体で理解したこと・授業前に比べてできるようになったこと】

- ・「走れメロス」を通して、物語はあらすじだけでなく登場人物の心情や作者の生い立ち、時代背景と結びつけて読むことでより深く理解できることを学んだ。

- ・以前は感想を書くことが中心だったが、今回は本文の言葉を根拠にして考察を書くことができるようになった。

- ・作者である太宰治について調べ、作品との関係を考える力が身に付いた。

- ・同じ場面でも人によって受け取り方が違うことを知り、一つの答えだけでなくさまざまな視点から考える大切さを理解した。

- ・文章を読むときに「なぜこの表現を使ったのか」と考える習慣が付き、より深く読み取ろうとする姿勢が身に付いた。

【その力を向上させるために行う具体的な手立て】

- ・本文中の言葉や場面を具体的に引用しながら、自分の考えを書く練習を続ける。

- ・作品を読むときに、作者の背景や時代についても調べ関連づけて考える習慣をつける。

- ・ 友達の意見を聞き、自分の考えと比べることで色々な方向から物事を考える力を伸ばす。
- ・ 一度書いた文章を必ず読み返し、「根拠がはっきりしているか」「理由が十分か」を確認するようにする。
- ・ 日常的に本や文章を読む量を増やし、表現の仕方や考え方に触れる機会を多くする。

②この単元で身に付けた資質・能力は日常生活・社会のどのような場面でどのように役立たせることができるか。

**【身に付けた資質・能力】**

- ・ 文章を根拠にもとづいて読み取る力
- ・ 他者の意見を聞き、自分の考えを深める力
- ・ 作者や時代背景と関連づけて考える力

**【役立つ場面】**

- ・ 他の教科で文章資料を読むとき
- ・ ニュースや SNS の情報を読み取るとき
- ・ 友達や家族と意見を話し合う場面

**【その理由（役立つと考える根拠）】**

- ・ 根拠をもとに考える力があれば、情報を正しく判断できるからである。
- ・ さまざまな立場や背景を考えることができれば、相手の考えを理解しやすくなり、よりよい話し合いができるからである。
- ・ 感情だけで判断せず理由を考えて行動できるようになるため、日常生活でも落ち着いて物事に向き合えると考える。
- ・ 社会に出たときにも多くの情報の中から大切なことを見極める力につながると考える。

5. その他

○担当教員へ伝えたいことや質問、疑問などがありましたらご記入ください。

・

## 学びのプラン

(単元名) 作者を調べて作品を深く味わおう

(教材名) 教科書 P204 「走れメロス」 太宰治

### 1. 単元で育成する資質・能力

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
<p>①抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。</p> <p>(1)エ</p>	<p>②表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすこと。</p> <p>目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈すること。</p> <p>文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすること。</p> <p>B 書くこと(1)オ C 読むこと(1)イオ</p>	

本単元で取り上げる言語活動

作者について調べることにより、作品をより深く読み味わうとともに、読み深めた内容を班で共有し伝え合い、より伝わるように書き直す活動。

### 2. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①作者について調べ、様々な作品を読むことにより語彙を豊かにしている。</p> <p>(1)エ</p>	<p>②調べた内容を班で共有し、より読み手に伝わるように書き直している。</p> <p>本文の記述や、作者の生い立ち、執筆当時の歴史などを調べ、わかったことや表現したかったことなどをまとめ、事実と意見を分けながら情報を整理している。</p> <p>作者の生い立ちなどから分かったことをもとに、作品に書かれていないことまで考えを広げている。</p> <p>B 書くこと(1)オ C 読むこと(1)イオ</p>	<p>③作者について調べることで本文に書かれている以上のことを読み取り、自分の考えを広げようとしている。</p>
<p>作者の生い立ちや当時の時代背景を調べたり、作者が書いた他の作品などを読んだりすることで、新しい言葉をたくさん知り、使えるようにしましょう。</p>	<p>班の中で調べることを分担し、調べた内容を共有することで、「走れメロス」がどのような作品なのか、本文に書かれていることだけではなく、調べることで見えてくることも踏まえ書いてみましょう。また、まとめた</p>	

	<p>内容を読み合い、より伝わりやすくする表現を考えて修正してみましょう。</p> <p>作者の生い立ちや時代背景などを調べ、事実と、そこから考えた自分の意見を明確に分けながら情報をまとめましょう。</p> <p>調べた内容や共有した内容をふまえて、作品を読む前と読んだ後、作者を調べる前と調べた後で広がった自分の考えをまとめてみましょう。</p>	
--	--	--

### 3. 学習のプロセス

次	時	授業の中で身に付けたい力 評価の方法	学習内容
第一	1 ・ 2 ・ 3	<p><b>【身に付けたい力】</b></p> <p>1 作者について項目ごとに調べ、複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、事実と意見を分けたりしながらまとめる力。</p> <p><b>【評価の方法】</b></p> <p>○ワークシートの記述を確認することを通して評価する。</p>	<p>1 単元の学習内容を共有する。</p> <p>2 ワークシートを確認する。</p> <p>3 場面ごとに「走れメロス」の範読を聞く。</p> <p>4 本文から分かることを紙のワークシートにまとめて共有する。</p> <p>5 ワークシート例をもとに、太宰治の他の作品や作者の生い立ちなど、何を調べるか方向性を定める。</p> <p>6 「第一次振り返り」を記入する。</p>
<p>《振り返り》※「走れメロス」を読むとともに、作者について調べることで気づいたこと・考えたことなど</p> <p>・『走れメロス』を読み進めながら、太宰治という作者について調べていく中で、作品の印象が少しずつ変わっていくのを感じました。最初は、メロスとセリヌンティウスの友情がまっすぐに描かれた、単純に「良い話」という印象が強かったのですが、作者の生い立ちや他の作品に触れることで、この物語の背景にある太宰自身の思いや葛藤が少し見えてきたように思います。特に、太宰が人間関係に悩んだり、自分自身に対して厳しい目を向けていたりしたことを知ると、メロスのように「人を信じる」姿を描いた理由が、ただの理想ではなく、太宰自身が強く求めていたものだったのではないかと感じました。また、授業で本文を場面ごとに聞きながら読み返すことで、メロスの行動や心の動きがより具体的に理解でき、最初に読んだときよりも細かい部分に気づけるようになりました。特に、途中で弱気になりながらも再び走り出す場面は、ただの勇気ではなく、人間の弱さと強さが同時に描かれていることに気づき、印象が深まりました。さらに、ワークシートで本文から分かることを整理したり、太宰治の他の作品や生涯について調べる方向性を考えたりする中で、情報をまとめる難しさと同時に、作者を知ることによって作品の理解が広がる面白さも感じました。今回の学習を通して、物語を読むときに「作者について調べること」が、ただの知識ではなく、作品の感じ方そのものを変える力を持っていることに気づきました。これからさらに調べていく中で、『走れメロス』がどのような思いで書かれたのか、そして太宰治がどんな人物だったのかを、自分なりにもっと深く考えていきたいと思っています。</p>			

第二次	<p>4</p> <p>・ 2 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりする力。</p> <p>5</p> <p>・</p> <p>6 【評価の方法】</p> <p>・ ○ワークシートの記述を確認することを通して評価する。</p> <p>7</p>	<p>1 前時の復習をする。</p> <p>2 ワークシート例をもとに、本文の内容や他の作品から読み取れたこと、作者の生い立ちなどをまとめる。</p> <p>3 調べた内容をグループで共有する。</p> <p>4 共有した内容をもとに、ワークシートを仕上げる。</p> <p>5 「第二次振り返り」を記入する。</p>
<p>《振り返り》※グループ内で共有したことをもとにワークシートを作成することで気付いたこと・考えたことなど</p> <p>・グループで調べた内容を共有しながらワークシートをまとめていく中で、自分一人で読んだり調べたりしていたときには気づけなかった視点がいくつも見えてきました。同じ『走れメロス』を読んでも、注目する場面や感じ方が人によって違い、その違いが話し合いの中で自然と作品理解を広げてくれたように感じました。自分はメロスの行動の勢いに目が向いていましたが、他の人は王の心の変化や、メロスが弱気になる場面の意味に注目していて、同じ物語でも読み取り方がこんなに違うのかと驚きました。また、太宰治について調べた内容を共有することで、作者の人物像がより立体的に見えてきました。自分は「太宰治は複雑な性格だった」という程度の理解でしたが、他の人が調べてきた家庭環境や時代背景、他の作品との共通点などを聞くことで、作品と作者のつながりがより深く理解できるようになりました。特に、「太宰自身が人を信じたい気持ちを強く持っていたのではないか」という意見を聞いたとき、メロスの行動が単なる友情物語ではなく、作者の思いが反映されたものとして見えてきて、作品の印象が大きく変わりました。ワークシートを仕上げる作業では、調べた情報をただ並べるのではなく、どの情報が作品理解に役立つのかを考えながら整理する必要があり、そこが難しくもあり、同時に学びの大きい部分でもありました。自分の考えと他の人の意見を比べながらまとめることで、文章を読む力だけでなく、情報を整理して自分の考えを広げる力も少しずつ身についてきたように感じています。今回の活動を通して、作品を深く理解するためには、自分の読みだけに頼らず、他の人の視点や知識を取り入れることが大切だと改めて感じました。これからの学習でも、文章を読むときに自分の経験や知識と結びつけながら考えを広げていく姿勢を大切にしていきたいと思います。</p>		
第三次	<p>8</p> <p>・ 3 表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだす力。</p> <p>9</p> <p>4 作者について調べることにより、作品をより深く読み味わうとともに、読み深めた内容を班で共有し伝え合い、より伝わるように書き直すことに向けた粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。</p>	<p>1 前時の復習をする。</p> <p>2 レポートを読み合う。</p> <p>3 改善点を伝え合う。</p> <p>4 赤字で改善する。</p> <p>5 ワークシートを提出する。</p> <p>6 「第三次振り返り」、「4. 振り返り」を記入する。</p>
<p>《振り返り》※レポートを改善することで気づいたこと・考えたことなど</p> <p>・レポートを読み合い、互いに改善点を伝え合う活動を通して、自分の文章を客観的に見直すことの大切さに気づきました。自分では分かりやすく書いたつもりでも、他の人から読むと伝わりにくい部分があったり、説明が足りなかったりすることがあり、読み手の視点に立つことの難しさを改めて感じました。また、良い点を指摘してもらえたことで、自分の文章の中にも伸ばしていける部分があると分かり、書くことへの自信にもつながりました。特に、表現の工夫について助言をもらったことで、文章の流れを意識して書き直すことができました。例えば、理由と結果のつながりが弱いと言われた部分は、接続語を工夫したり、説明を補ったりすることで、読み手にとって理解しやすい形に改善できました。また、太宰治について調べた内容をどのように作品の読み取りにつなげるかという点でも、他の人の意見を聞くことで、自分の考えをより深めることができました。調べた事実と自分の感じたことを結びつけることで、文章に説得力が生まれるということを実感しました。赤字で修正を加える作業は手間がかかりましたが、その分、自分の文章が少しずつ良くなっていくのが分かり、書き直すことの意味を強く感じました。最初は「書き直し=間違いを直す作業」というイメージがあり</p>		

ましたが、今回の活動を通して、書き直しは「より伝わる文章に近づけるための前向きな作業」だと考えられるようになりました。今回の学習を通して、自分の文章を客観的に見つめ直し、読み手の立場を意識しながら改善していく姿勢が少し身についてきたように思います。これからも、助言を素直に受け取りながら、自分の考えをより分かりやすく伝えられるように工夫していきたいです。

#### 4. 振り返り（単元を終えて）

①この単元全体で理解したことや、授業前と比べできるようになったこと、その力を向上させるためには何をどのようにすればいいかなど。

【単元全体で理解したこと・授業前に比べてできるようになったこと】

・この単元を通して、自分は物語を読むときに、ただ内容を追うだけではなく、作者の生い立ちや時代背景を調べることで、作品の見え方が大きく変わることを理解しました。授業が始まる前は、「走れメロス」は友情の話というくらいの印象しかありませんでしたが、太宰治について調べたり、他の人の意見を聞いたりする中で、作品の奥にある思いやテーマをより深く考えられるようになったと思います。また、調べたことをワークシートにまとめる活動が続けることで、情報を整理して書く力が前より身についてきたと感じています。特に、事実と自分の意見を分けて書くことや、必要な情報を選んで文章にすることが、以前よりスムーズにできるようになりました。レポートを読み合っただけで改善点を伝え合う活動では、自分では気づけなかった表現のくせや説明不足の部分を知ることができ、文章を読み手に分かりやすくするための工夫を意識できるようになりました。さらに、グループで意見を共有する中で、自分とは違う視点に触れられたことも大きな学びでした。同じ作品を読んでも、注目するところや感じ方が人によって違い、その違いが自分の考えを広げてくれました。こうした話し合いを通して、作品をより深く味わうことができたと思います。

【その力を向上させるために行う具体的な手立て】

・この単元で身につけた力をさらに伸ばすためには、まず、文章を書く前に「何を伝えたいのか」をはっきりさせる習慣をつけることが大切だと感じました。自分は、書き始めると途中で話がずれてしまうことがあるので、最初に簡単なメモや構成を作ってから書き始めるようにすると、文章の流れが分かりやすくなると思います。また、書いた文章を読み返すときには、「自分が読み手だったらどう感じるか」を意識して見直すことが必要だと感じました。今回のレポートの読み合いで、他の人の意見を聞くことで、自分では気づけなかった改善点が見つかったので、これからも友達や家族に読んでもらったり、声に出して読んだりして、伝わりやすい表現を意識していきたいです。さらに、作品を深く読むためには、作者について調べたり、他の作品と比べたりすることが役に立つと分かったので、今後も気になったことは自分で調べる習慣をつけたいと思います。調べたことをそのまま書くのではなく、自分の考えと結びつけてまとめる練習を続けることで、文章に説得力が出てくると感じました。これらのことを意識しながら、これからも文章を書く力を少しずつ伸ばしていきたいです。

②この単元で身に付けた資質・能力は日常生活・社会のどのような場面でどのように役立たせることができるか。

【身に付けた資質・能力】

・この単元を通して、自分は文章を読む力や書く力が、以前より確実に伸びたと感じています。まず、作品を読むときに、登場人物の言動の意味を考えたり、作者の背景と結びつけて解釈したりする力が身につきました。授業前は、物語をそのまま読むだけで終わってしまうことが多かったのですが、今では「なぜこういう行動をしたのか」「作者はどんな思いで書いたのか」など、少し深いところまで考えられるようになりました。また、語彙の面でも、抽象的な言葉や類義語・対義語の違いを意識して使うことが増え、文章を書くときの表現の幅が広がったと思います。自分の考えを説明するときに、より適切な言葉を選べるようになり、語感も前より磨かれたと感じています。さらに、調べた情報を整理してまとめる力も身につきました。事実と自分の意見を分けて書くことや、複数の情報の中から必要なものを

選び取ることが、以前よりスムーズにできるようになりました。レポートを読み合って改善点を伝え合う活動では、読み手の立場を意識して文章を直す力も伸びたと思います。表現の工夫やその効果について考えながら書き直すことで、自分の文章の良いところと改善すべきところを見つけられるようになりました。これらの力は、今後ほかの教科の学習や日常生活でも役立つものだと感じています。

#### 【役立つ場面】

- ・友達や家族に自分の考えを説明するとき
- ・調べ学習や発表で、情報を整理してまとめるとき
- ・ニュースや社会の出来事を理解しようとするとき
- ・文章を書くときに、読み手に伝わりやすい表現を考えるとき
- ・話し合い活動で、相手の意見を聞きながら自分の考えを広げるとき
- ・将来、仕事で報告書を書いたり、人に説明したりするとき

#### 【その理由（役立つと考える根拠）】

・この単元で身につけた力が役立つと考える理由は、どの場面でも「自分の考えを分かりやすく伝えること」や「情報を正しく理解すること」が必要になるからです。友達や家族に説明するときでも、学校の発表や調べ学習でも、相手に伝わるように話したり書いたりする力が求められます。そのとき、語彙が豊かになっていると、自分の気持ちや考えをより正確に表現できるようになります。

また、複数の情報を整理してまとめる力は、社会に出てからも必要になる力です。ニュースや社会の出来事を理解するときには、事実と意見を区別して考えることが大切で、今回の学習で身につけた「読み深める力」がそのまま役に立つと思います。さらに、読み手の立場を意識して文章を直す経験をしたことで、人に説明するときに「どうすれば伝わるか」を考えられるようになり、コミュニケーションがスムーズになります。

話し合い活動で相手の意見を聞きながら自分の考えを広げる力も、将来の仕事や日常生活で必要になる力です。自分とは違う考えを受け入れたり、そこから新しい考えを生み出したりすることは、どんな場面でも役立つと感じています。

#### 5. その他

○担当教員へ伝えたいことや質問、疑問などがありましたらご記入ください。

・

## 学びのプラン

(単元名) 作者を調べて作品を深く味わおう

(教材名) 教科書 P204 「走れメロス」 太宰治

### 1. 単元で育成する資質・能力

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
<p>①抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。</p> <p>(1)エ</p>	<p>②表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすこと。</p> <p>目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈すること。</p> <p>文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすること。</p> <p>B 書くこと(1)オ C 読むこと(1)イオ</p>	

本単元で取り上げる言語活動

作者について調べることにより、作品をより深く読み味わうとともに、読み深めた内容を班で共有し伝え合い、より伝わるように書き直す活動。

### 2. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①作者について調べ、様々な作品を読むことにより語彙を豊かにしている。</p> <p>(1)エ</p>	<p>②調べた内容を班で共有し、より読み手に伝わるように書き直している。</p> <p>本文の記述や、作者の生い立ち、執筆当時の歴史などを調べ、わかったことや表現したかったことなどをまとめ、事実と意見を分けながら情報を整理している。</p> <p>作者の生い立ちなどから分かったことをもとに、作品に書かれていないことまで考えを広げている。</p> <p>B 書くこと(1)オ C 読むこと(1)イオ</p>	<p>③作者について調べることで本文に書かれている以上のことを読み取り、自分の考えを広げようとしている。</p>
<p>作者の生い立ちや当時の時代背景を調べたり、作者が書いた他の作品などを読んだりすることで、新しい言葉をたくさん知り、使えるようにしましょう。</p>	<p>班の中で調べることを分担し、調べた内容を共有することで、「走れメロス」がどのような作品なのか、本文に書かれていることだけではなく、調べることで見えてくることも踏まえ書いてみましょう。また、まとめた</p>	

	<p>内容を読み合い、より伝わりやすくする表現を考えて修正してみましょう。</p> <p>作者の生い立ちや時代背景などを調べ、事実と、そこから考えた自分の意見を明確に分けながら情報をまとめましょう。</p> <p>調べた内容や共有した内容をふまえて、作品を読む前と読んだ後、作者を調べる前と調べた後で広がった自分の考えをまとめてみましょう。</p>	
--	--	--

### 3. 学習のプロセス

次	時	授業の中で身に付けたい力 評価の方法	学習内容
第 一 次	1	<b>【身に付けたい力】</b>	1 単元の学習内容を共有する。
	2	1 作者について項目ごとに調べ、複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、事実と意見を分けたりしながらまとめる力。	2 ワークシートを確認する。
	3	<b>【評価の方法】</b> ○ワークシートの記述を確認することを通して評価する。	3 場面ごとに「走れメロス」の範読を聞く。 4 本文から分かることを紙のワークシートにまとめて共有する。 5 ワークシート例をもとに、太宰治の他の作品や作者の生い立ちなど、何を調べるか方向性を定める。 6 「第一次振り返り」を記入する。
<p>《振り返り》※「走れメロス」を読むとともに、作者について調べることで気づいたこと・考えたことなど 「走れメロス」を読むとともに太宰治について調べてみて、物語の印象が少し変わった。最初は、メロスはただ正義感が強くてまっすぐな人物だと思っていた。しかし、太宰治が人との関係に悩みながら生きていたことを知り、メロスの迷いや不安の場面にも意味があるのではないかと考えた。また、王が人を信じられなくなった理由も、作者自身の心の状態と重なる部分があるのではないかと思った。だからこそ、最後に人を信じるという結末がより強く心に残った。作者について知ること、登場人物の気持ちや行動をより深く考えることができ、物語を表面だけでなく内面まで読み取ろうとする大切さに気づいた。</p>			
第 二 次	4	<b>【身に付けたい力】</b>	1 前時の復習をする。
	5	2 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりする力。	2 ワークシート例をもとに、本文の内容や他の作品から読み取れたこと、作者の生い立ちなどをまとめる。
	6	<b>【評価の方法】</b> ○ワークシートの記述を確認することを通して評価する。	3 調べた内容をグループで共有する。 4 共有した内容をもとに、ワークシートを仕上げる。 5 「第二次振り返り」を記入する。

<p>《振り返り》※グループ内で共有したことをもとにワークシートを作成することで気付いたこと・考えたことなど 「走れメロス」を読むとともに太宰治について調べてみて、物語の印象が少し変わった。最初は、メロスはただ正義感が強くてまっすぐな人物だと思っていた。しかし、太宰治が人との関係に悩みながら生きていたことを知り、メロスの迷いや不安の場面にも意味があるのではないかと考えた。また、王が人を信じられなくなった理由も、作者自身の心の状態と重なる部分があるのではないかと思った。だからこそ、最後に人を信じるという結末がより強く心に残った。作者について知ることで、登場人物の気持ちや行動をより深く考えることができ、物語を表面だけでなく内面まで読み取ろうとする大切さに気づいた。</p>			
第三次	8 ・ 9	<p>3 表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだす力。</p> <p>4 作者について調べることにより、作品をより深く読み味わうとともに、読み深めた内容を班で共有し伝え合い、より伝わるように書き直すことに向けた粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。</p>	<p>1 前時の復習をする。</p> <p>2 レポートを読み合う。</p> <p>3 改善点を伝え合う。</p> <p>4 赤字で改善する。</p> <p>5 ワークシートを提出する。</p> <p>6 「第三次振り返り」、「4. 振り返り」を記入する。</p>
<p>《振り返り》※レポートを改善することで気づいたこと・考えたことなど ・レポートを読み合い、改善点を考える中で、自分では分かりやすいと思っていた文章でも、他の人から見ると説明が足りない部分があることに気づいた。より伝わる文章にするためには、具体例や根拠を書くことが大切だと分かった。また、表現を少し変えるだけで文章が読みやすくなることも学んだ。書き直すことで、自分の考えがさらに整理され、より深く作品を理解できたと思う。</p>			

#### 4. 振り返り（単元を終えて）

①この単元全体で理解したことや、授業前と比べできるようになったこと、その力を向上させるためには何をどのようにすればいいかなど。

【単元全体で理解したこと・授業前に比べてできるようになったこと】

・この単元を通して、作者の生い立ちや時代背景を調べることで、作品の内容をより深く読み取れることが分かった。授業前は物語の出来事だけを追っていたが、太宰治の人生や考え方を知ることによって、「友情」や「人間不信」といったテーマの重みを考えられるようになった。また、事実と自分の意見を分けてまとめる力も少し身についたと思う。

【その力を向上させるために行う具体的な手立て】

これからは、作品を読むときに

作者について自分から調べる、時代背景にも目を向ける、本文の表現（動機や言葉のくり返し）に注目することを意識したい。また、感想を書くときは「なぜそう思ったのか」まで書くことを心がけたい。

②この単元で身に付けた資質・能力は日常生活・社会のどのような場面でどのように役立たせることができるか。

【身に付けた資質・能力】

- ・情報を整理する力
- ・事実と意見を分けて考える力
- ・根拠をもとに自分の考えを広げる力

【役立つ場面】

- ・他の教科でレポートを書くとき
- ・ニュースやSNSの情報を正しく判断するとき
- ・友達と話し合いをするとき

【その理由（役立つと考える根拠）】

・情報をそのまま信じるのではなく、根拠を考えたり、自分の意見を整理したりできる力は、どんな場面でも大切だから。

5. その他

○担当教員へ伝えたいことや質問、疑問などがありましたらご記入ください。

・

## 学びのプラン

(単元名) 作者を調べて作品を深く味わおう

(教材名) 教科書 P204 「走れメロス」 太宰治

### 1. 単元で育成する資質・能力

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
<p>①抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。</p> <p>(1)エ</p>	<p>②表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすこと。</p> <p>目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈すること。</p> <p>文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすること。</p> <p>B 書くこと(1)オ C 読むこと(1)イオ</p>	

本単元で取り上げる言語活動

作者について調べることにより、作品をより深く読み味わうとともに、読み深めた内容を班で共有し伝え合い、より伝わるように書き直す活動。

### 2. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①作者について調べ、様々な作品を読むことにより語彙を豊かにしている。</p> <p>(1)エ</p>	<p>②調べた内容を班で共有し、より読み手に伝わるように書き直している。</p> <p>本文の記述や、作者の生い立ち、執筆当時の歴史などを調べ、わかったことや表現したかったことなどをまとめ、事実と意見を分けながら情報を整理している。</p> <p>作者の生い立ちなどから分かったことをもとに、作品に書かれていないことまで考えを広げている。</p> <p>B 書くこと(1)オ C 読むこと(1)イオ</p>	<p>③作者について調べることで本文に書かれている以上のことを読み取り、自分の考えを広げようとしている。</p>
<p>作者の生い立ちや当時の時代背景を調べたり、作者が書いた他の作品などを読んだりすることで、新しい言葉をたくさん知り、使えるようにしましょう。</p>	<p>班の中で調べることを分担し、調べた内容を共有することで、「走れメロス」がどのような作品なのか、本文に書かれていることだけではなく、調べることで見えてくることも踏まえ書いてみましょう。また、まとめた</p>	

	<p>内容を読み合い、より伝わりやすくする表現を考えて修正してみましょう。</p> <p>作者の生い立ちや時代背景などを調べ、事実と、そこから考えた自分の意見を明確に分けながら情報をまとめましょう。</p> <p>調べた内容や共有した内容をふまえて、作品を読む前と読んだ後、作者を調べる前と調べた後で広がった自分の考えをまとめてみましょう。</p>	
--	--	--

### 3. 学習のプロセス

次	時	授業の中で身に付けたい力 評価の方法	学習内容
第 一 次	1	<p><b>【身に付けたい力】</b></p> <p>1 作者について項目ごとに調べ、複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、事実と意見を分けたりしながらまとめる力。</p> <p><b>【評価の方法】</b></p> <p>○ワークシートの記述を確認することを通して評価する。</p>	<p>1 単元の学習内容を共有する。</p> <p>2 ワークシートを確認する。</p> <p>3 場面ごとに「走れメロス」の範読を聞く。</p> <p>4 本文から分かることを紙のワークシートにまとめて共有する。</p> <p>5 ワークシート例をもとに、太宰治の他の作品や作者の生い立ちなど、何を調べるか方向性を定める。</p> <p>6 「第一次振り返り」を記入する。</p>
	2		
	3		
<p>《振り返り》※「走れメロス」を読むとともに、作者について調べることで気づいたこと・考えたことなど</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初めはメロスを「完璧な正義の味方」だと思っていたが、本文の「だらしがない。笑ってくれ」という言葉や、作者の太宰治が「恥」や「弱さ」を描く作家だと知り、メロスの人間くささが表現されていることに気づいた。</li> <li>・自分の弱さを隠さず書く太宰のスタイルを知ることで、物語の結末が単なるハッピーエンドではなく、作者自身の「誠実に生きたい」という切実な願いの表れではないかと考えた。→幸治について調べることで、メロスの「弱さ」に目が向くようになった。</li> <li>・「メロスは激怒した」という有名な一文も、感情に任せて動くメロスの短気さや純朴さを表していると知り、完璧なヒーローではないからこそ人間味を感じるのだと気づいた。</li> <li>・調べる前は王様を悪役だと思っていたが、当時の軍国主義的な時代背景や、太宰自身が「人を信じたい」と願っていた時期であることを知り、王様は「誰も信じられない孤独」を抱えた太宰自身を描いたのかもしれないと考えが深まった。</li> </ul>			
第 二 次	4	<p><b>【身に付けたい力】</b></p> <p>2 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりする力。</p> <p><b>【評価の方法】</b></p> <p>○ワークシートの記述を確認することを通して評価する。</p>	<p>1 前時の復習をする。</p> <p>2 ワークシート例をもとに、本文の内容や他の作品から読み取れたこと、作者の生い立ちなどをまとめる。</p> <p>3 調べた内容をグループで共有する。</p> <p>4 共有した内容をもとに、ワークシートを仕上げる。</p> <p>5 「第二次振り返り」を記入する。</p>
	5		
	6		
	7		

<p>《振り返り》※グループ内で共有したことをもとにワークシートを作成することで気付いたこと・考えたことなど</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事実（時代背景や他作品の内容）と意見（そこから考察したこと）を分けて整理することで、メロスが最後に赤面した理由など、本文に書かれていない登場人物の心理に着目することができた。→調べて意味を知り、太宰治の作品に興味があった。</li> <li>・班のメンバーと内容を共有したとき、『走れメロス』の明るさと『人間失格』の暗さのギャップについて触れた。→調べてみようかと、興味がわき、太宰治について少し理解できた。</li> <li>・太宰治の他の作品を調べた友達と共有して、太宰には「信じたけれど信じられない」という葛藤があったことを知った。→それを踏まえて、メロスの走りは太宰にとっての理想であったことを捉えられるようになった。</li> </ul>			
第三次	<p>8</p> <p>9</p> <p>4</p>	<p>3 表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだす力。</p> <p>4 作者について調べることにより、作品をより深く読み味わうとともに、読み深めた内容を班で共有し伝え合い、より伝わるように書き直すことに向けた粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。</p>	<p>1 前回の復習をする。</p> <p>2 レポートを読み合う。</p> <p>3 改善点を伝え合う。</p> <p>4 赤字で改善する。</p> <p>5 ワークシートを提出する。</p> <p>6 「第三次振り返り」、「4. 振り返り」を記入する。</p>
<p>《振り返り》※レポートを改善することで気づいたこと・考えたことなど</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一文を短くしたり、接続詞を工夫することで事実と自分の考えの区別が分かりやすくなり、読み手に伝わりやすいことに気が付いた。→事実を正しく伝えられた。</li> <li>・「純朴」や「波乱万丈」「道化」等の普段使わない言葉を調べて、より自分の意見が伝わりやすい文にすることができた。（ぴったりな表現をすることができた。）→文の質が上がった気がした。</li> <li>・交流で、「他作品との比較から分かること」で作品のイメージを簡単にまとめた部分が分かりやすく良いと思われたので、読み手にイメージしやすい表現は大切だということを学んだ。</li> </ul>			

#### 4. 振り返り（単元を終えて）

①この単元全体で理解したことや、授業前と比べできるようになったこと、その力を向上させるためには何をどのようにすればいいかなど。

##### 【単元全体で理解したこと・授業前に比べてできるようになったこと】

- ・作品は作者の人生や時代背景に影響していること（理解）
- ・太宰が「走れメロス」に込めたのは友情の美しさだけでなく、自分自身の「誠実でありたいという」願いだったという深いものだったこと（理解）
- ・いくつかの物語や資料から必要な情報を加工して、客観的な事実と主観的な意見を分けて論理的に文章を構成できるようになった。（向上）

##### 【その力を向上させるために行う具体的な手立て】

- ・他の作家の作品を読むときも、解説やあとがきを読み、動機や時代背景をセットで調べる習慣を身につける。→物語が作られたきっかけや理由を知ったうえで読むと、楽しめるので継続しやすい。
- ・語彙力を高めるために読書中に知らない単語を見つけたら辞書的な意味や語感を意識してメモを取る（覚える）。

②この単元で身に付けた資質・能力は日常生活・社会のどのような場面でどのように役立たせることができるか。

##### 【身に付けた資質・能力】

- ・いろいろな情報の収集能力
- ・事実と意見を分ける論理的な表現

##### 【役立つ場面】

- ・テストでの小論文や、仕事でのプレゼンテーション資料や報告書を作る場面
- ・ニュースを鵜呑みにせずになぜその事件が起きたのか、当時の社会状況はどうだったのか（背景）をいろいろな視点から分析して本質を理解しようとする場面

【その理由（役立つと考える根拠）】

- ・本文だけでなく、背景にある情報や事実を調べて合わせる（統合）力は物語や物事の本質を理解するために必要だから。
- ・事実と意見を分けて伝える力は他者とすれ違いのない対話を行うために必要だから。

5. その他

- 担当教員へ伝えたいことや質問、疑問などがありましたらご記入ください。
- ・自分の言葉でまとめるときに語彙力が足りなくて難しいです。表現の幅を広げるためのトレーニング等良い方法があれば教えていただきたいです。

## 学びのプラン

(単元名) 作者を調べて作品を深く味わおう

(教材名) 教科書 P204 「走れメロス」 太宰治

### 1. 単元で育成する資質・能力

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
<p>①抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。</p> <p>(1)エ</p>	<p>②表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすこと。</p> <p>目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈すること。</p> <p>文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすること。</p> <p>B 書くこと(1)オ C 読むこと(1)イオ</p>	

本単元で取り上げる言語活動

作者について調べることにより、作品をより深く読み味わうとともに、読み深めた内容を班で共有し伝え合い、より伝わるように書き直す活動。

### 2. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①作者について調べ、様々な作品を読むことにより語彙を豊かにしている。</p> <p>(1)エ</p>	<p>②調べた内容を班で共有し、より読み手に伝わるように書き直している。</p> <p>本文の記述や、作者の生い立ち、執筆当時の歴史などを調べ、わかったことや表現したかったことなどをまとめ、事実と意見を分けながら情報を整理している。</p> <p>作者の生い立ちなどから分かったことをもとに、作品に書かれていないことまで考えを広げている。</p> <p>B 書くこと(1)オ C 読むこと(1)イオ</p>	<p>③作者について調べることで本文に書かれている以上のことを読み取り、自分の考えを広げようとしている。</p>
<p>作者の生い立ちや当時の時代背景を調べたり、作者が書いた他の作品などを読んだりすることで、新しい言葉をたくさん知り、使えるようにしましょう。</p>	<p>班の中で調べることを分担し、調べた内容を共有することで、「走れメロス」がどのような作品なのか、本文に書かれていることだけではなく、調べることで見えてくることも踏まえ書いてみましょう。また、まとめた</p>	

	<p>内容を読み合い、より伝わりやすくする表現を考えて修正してみましょう。</p> <p>作者の生い立ちや時代背景などを調べ、事実と、そこから考えた自分の意見を明確に分けながら情報をまとめましょう。</p> <p>調べた内容や共有した内容をふまえて、作品を読む前と読んだ後、作者を調べる前と調べた後で広がった自分の考えをまとめてみましょう。</p>	
--	--	--

### 3. 学習のプロセス

次	時	授業の中で身に付けたい力 評価の方法	学習内容
第 一 次	1	<p>【身に付けたい力】</p> <p>1 作者について項目ごとに調べ、複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、事実と意見を分けたりしながらまとめる力。</p> <p>【評価の方法】</p> <p>○ワークシートの記述を確認することを通して評価する。</p>	<p>1 単元の学習内容を共有する。</p> <p>2 ワークシートを確認する。</p> <p>3 場面ごとに「走れメロス」の範読を聞く。</p> <p>4 本文から分かることを紙のワークシートにまとめて共有する。</p> <p>5 ワークシート例をもとに、太宰治の他の作品や作者の生い立ちなど、何を調べるか方向性を定める。</p> <p>6 「第一次振り返り」を記入する。</p>
	2		
	3		
<p>《振り返り》※「走れメロス」を読むとともに、作者について調べることで気づいたこと・考えたことなど</p> <p>・「走れメロス」を読んで思ったことは、メロスは自分のことより家族、友人のことを大切に考えていてすごい自分のことを後回しにしていると感じた。</p> <p>班で意見を共有した時に、みんなと同じところもあったが、自分が気づかなかったところなどみんな気づいていて色々な視点から話を読むことは大切だと改めて感じた。</p> <p>太宰治は色々な作品を作っていて人間関係など私達に密接に関わっている内容なので時代は違えど当時も私たちのように生活している事がわかって面白かった。</p> <p>また、わからないことをしっかりと自分で深く考えどうしたらもっとより良くなるのかを考えてワークシートに記入した。</p>			
第 二 次	4	<p>【身に付けたい力】</p> <p>2 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりする力。</p> <p>【評価の方法】</p> <p>○ワークシートの記述を確認することを通して評価する。</p>	<p>1 前時の復習をする。</p> <p>2 ワークシート例をもとに、本文の内容や他の作品から読み取れたこと、作者の生い立ちなどをまとめる。</p> <p>3 調べた内容をグループで共有する。</p> <p>4 共有した内容をもとに、ワークシートを仕上げる。</p> <p>5 「第二次振り返り」を記入する。</p>
	5		
	6		
	7		

<p>《振り返り》※グループ内で共有したことをもとにワークシートを作成することで気付いたこと・考えたことなど</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文章を読んで理解したことは、本文を読んでいる際に、どういった意図でこのような文章を書いているのかをしっかりと考えることによってより作品が面白くなった。</li> </ul> <p>特に、「斜陽」を読んでいるときに、太宰治が当時どういった心情でこのようなものを書いたのかを考えながら読むことによって面白かった。</p> <p>グループで読み合った時に自分の考えでは全く違う意見をみんなが持っていて面白かった。</p> <p>太宰治の生い立ちを調べていて思ったことは彼はとても大変な人生だった事がわかった、それを踏まえてもう一度本を読んでみると、どうしてこの表現を使ったのかが理解できた。</p> <p>グループでまわし読みをしている中で、自分では気づけなかったミスが多々見付き、日本語がおかしいところがありそれを改善することができた。</p>		
第三次	<p>8</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3 表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだす力。</li> <li>9</li> <li>4 作者について調べることにより、作品をより深く読み味わうとともに、読み深めた内容を班で共有し伝え合い、より伝わるように書き直すことに向けた粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。</li> </ul>	<p>1 前時の復習をする。</p> <p>2 レポートを読み合う。</p> <p>3 改善点を伝え合う。</p> <p>4 赤字で改善する。</p> <p>5 ワークシートを提出する。</p> <p>6 「第三次振り返り」、「4. 振り返り」を記入する。</p>
<p>《振り返り》※レポートを改善することで気づいたこと・考えたことなど</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>改善点を話し合っているときにどうしたらもっと自分のワークシートが良くなるのかをみんなで話し合い、わかりやすく教えてくれたりと良かった。</li> </ul> <p>赤字で改善しているときに、書いている情報が間違っていたり、情報が不足していたりとミスがあった。</p> <p>改善をしているときに、どうしたらもっとわかりやすくなるのかをしっかりと考えながら赤字で改善していった。</p> <p>特に作者の生い立ちや「走れメロス」の要約を読み直した情報が足りないことがあったのでそれを赤字で改善をした。</p>		

#### 4. 振り返り（単元を終えて）

①この単元全体で理解したことや、授業前と比べできるようになったこと、その力を向上させるためには何をどのようにすればいいかなど。

【単元全体で理解したこと・授業前に比べてできるようになったこと】

- 単元全体で理解したこと・授業前に比べてできるようになったことは本を読んで作家の想いを考えてどういった意味でその単語を使ったのかを考えて読むことによってより作者の想いが伝わるようになった。

【その力を向上させるために行う具体的な手立て】

- その力を向上させるために行う具体的な手立ては、話を深く、何度も読むことによって話をよく理解することができ、また、作者の生い立ちを知ることで、何故このような単語を使用したのかや言い回しをしたのかを理解することができ、よりその物語を面白く読むことができるようになった。

②この単元で身に付けた資質・能力は日常生活・社会のどのような場面でどのように役立たせることができるか。

【身に付けた資質・能力】

- 身につけた資質・能力は、読書をすることによって作品の内容は勿論、当時の時代感や作者の想い、作者の今の状態を考えることによってどうしてこのような表現・単語を使用したのかを考えて読むことにより、いつも以上に本を楽しく読むことができると思う。

【役立つ場面】

- 読書感想文・ディベート等

【その理由（役立つと考える根拠）】

- 読書感想文を書くときに、作者が何故このような表現・単語を使用したのかを考えて、より面白くな

ることができた。

また、作者の生い立ちや当時の生活状況、当時の時代背景などがわかったり、感想を書くときに作者の気持ちを考えて書くことによって、より深くその物語について知ることができると思う。

ディベートを行うときに、作者の気持ちや、どうしたらみんなが読みたくなるのかを考えて喋ることにより、より信ぴょう性を高めることができるのではないかな。

## 5. その他

○担当教員へ伝えたいことや質問、疑問などがありましたらご記入ください。

・今回、太宰治について詳しく知ることができました。

太宰治だけではなく、宮沢賢治や芥川龍之介などの作品を読みたいと思います。

今回沢山勉強することができました。

ありがとうございました。これからもよろしくお願いします。

## 学びのプラン

(単元名) 作者を調べて作品を深く味わおう

(教材名) 教科書 P204 「走れメロス」 太宰治

### 1. 単元で育成する資質・能力

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
<p>①抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。</p> <p>(1)エ</p>	<p>②表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすこと。</p> <p>目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈すること。</p> <p>文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすること。</p> <p>B 書くこと(1)オ C 読むこと(1)イオ</p>	

本単元で取り上げる言語活動

作者について調べることにより、作品をより深く読み味わうとともに、読み深めた内容を班で共有し伝え合い、より伝わるように書き直す活動。

### 2. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①作者について調べ、様々な作品を読むことにより語彙を豊かにしている。</p> <p>(1)エ</p>	<p>②調べた内容を班で共有し、より読み手に伝わるように書き直している。</p> <p>本文の記述や、作者の生い立ち、執筆当時の歴史などを調べ、わかったことや表現したかったことなどをまとめ、事実と意見を分けながら情報を整理している。</p> <p>作者の生い立ちなどから分かったことをもとに、作品に書かれていないことまで考えを広げている。</p> <p>B 書くこと(1)オ C 読むこと(1)イオ</p>	<p>③作者について調べることで本文に書かれている以上のことを読み取り、自分の考えを広げようとしている。</p>
<p>作者の生い立ちや当時の時代背景を調べたり、作者が書いた他の作品などを読んだりすることで、新しい言葉をたくさん知り、使えるようにしましょう。</p>	<p>班の中で調べることを分担し、調べた内容を共有することで、「走れメロス」がどのような作品なのか、本文に書かれていることだけではなく、調べることで見えてくることも踏まえ書いてみましょう。また、まとめた</p>	

	<p>内容を読み合い、より伝わりやすくする表現を考えて修正してみましょう。</p> <p>作者の生い立ちや時代背景などを調べ、事実と、そこから考えた自分の意見を明確に分けながら情報をまとめましょう。</p> <p>調べた内容や共有した内容をふまえて、作品を読む前と読んだ後、作者を調べる前と調べた後で広がった自分の考えをまとめてみましょう。</p>	
--	--	--

### 3. 学習のプロセス

次	時	授業の中で身に付けたい力 評価の方法	学習内容
第 一 次	1	<p>【身に付けたい力】</p> <p>1 作者について項目ごとに調べ、複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、事実と意見を分けたりしながらまとめる力。</p> <p>【評価の方法】</p> <p>○ワークシートの記述を確認することを通して評価する。</p>	<p>1 単元の学習内容を共有する。</p> <p>2 ワークシートを確認する。</p> <p>3 場面ごとに「走れメロス」の範読を聞く。</p> <p>4 本文から分かることを紙のワークシートにまとめて共有する。</p> <p>5 ワークシート例をもとに、太宰治の他の作品や作者の生い立ちなど、何を調べるか方向性を定める。</p> <p>6 「第一次振り返り」を記入する。</p>
	2		
<p>《振り返り》※「走れメロス」を読むとともに、作者について調べることで気づいたこと・考えたことなど</p> <p>・作者の太宰治のことを調べると太宰が書く作品は単なるフィクションではなく、自身の体験も取り入れていることに気づきました。本作でも元はシラーの「人質」というのはよく分かりますが、その中ではメロスやディオニスの心情があまり細かに描かれていませんでした。特にメロスの自分の正義を信じる心や人を疑ってしまうという人間味あふれる心情や表現の数々は太宰が経験したことがあるからこそなのかもしれないと考えることができると思います。作者について調べることで作者がなぜどうしてこのような作品を生み出したのかや作者の身に起こった出来事を知ることができるとわかりました。</p>			
第 二 次	4	<p>【身に付けたい力】</p> <p>2 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりする力。</p> <p>【評価の方法】</p> <p>○ワークシートの記述を確認することを通して評価する。</p>	<p>1 前時の復習をする。</p> <p>2 ワークシート例をもとに、本文の内容や他の作品から読み取れたこと、作者の生い立ちなどをまとめる。</p> <p>3 調べた内容をグループで共有する。</p> <p>4 共有した内容をもとに、ワークシートを仕上げる。</p> <p>5 「第二次振り返り」を記入する。</p>
	5		
	6		
	7		

<p>《振り返り》※グループ内で共有したことをもとにワークシートを作成することで気付いたこと・考えたことなど</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作者の生い立ちを調べることで、その作者の作風や伝えなかったことを読み取ることでできるとわかりました。今回、太宰治の他作品でもそれぞれ違う年代ものを読むようにしました。こうすることでその時代によって作風やテーマに違いはあるのかやその作者の状況もわかりやすくまとめることができましたと思います。また、共有した中で「登場人物の分析」の欄のメロスはほとんどが計画性の無さもあり、自分の考えを最後まで貫くという意見が多かったことに気づきました。多角的な視点で作品を読むことで登場人物や作者のことを深く理解することができると思うことができましたので、この気づきをワークシートに活かしたいです。</li> </ul>			
第三次	8 ・ 9	<p>3 表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだす力。</p> <p>4 作者について調べることで、作品をより深く読み味わうとともに、読み深めた内容を班で共有し伝え合い、より伝わるように書き直すことに向けた粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。</p>	<p>1 前時の復習をする。</p> <p>2 レポートを読み合う。</p> <p>3 改善点を伝え合う。</p> <p>4 赤字で改善する。</p> <p>5 ワークシートを提出する。</p> <p>6 「第三次振り返り」、「4. 振り返り」を記入する。</p>
<p>《振り返り》※レポートを改善することで気付いたこと・考えたことなど</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いくつか番号を振って分けたり、本文中の言葉を使ったあらすじがとてもわかりやすかったです。自分のレポートの改善点は「他作品との比較」がわかりにくかったことでした。これを改善するために、その作品の基本情報を入れることで比較をわかりやすくすることができると考えました。また、時代背景の部分に今回ならば作者の精神状態を書くことにより良いと気づきました。太宰治の作品は太宰自身の体験談が入っている作品が多いと考えられたからです。レポートを改善するには自分だけでなく他の誰かに読んでもらうことで、自分では気づくことが難しかった課題やミスを見つけることができると気づけました。</li> </ul>			

#### 4. 振り返り（単元を終えて）

①この単元全体で理解したことや、授業前と比べできるようになったこと、その力を向上させるためには何をどのようにすればいいかなど。

【単元全体で理解したこと・授業前に比べてできるようになったこと】

- ・読み手からのアドバイスなどを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすことの重要性を理解した。

- ・複数の情報を整理しながら適切な情報を得ることができるようになった。

【その力を向上させるために行う具体的な手立て】

- ・読み手からのアドバイスを自分の文章に取り入れ、より伝わりやすい文章に改善することや相手の文章のよい点、改善点を見つけ、自分のものと比較することで向上すると思います。

- ・複数の情報を整理しながら適切な情報を得る力を向上させるには、調べる観点を明確にすることとネットや書籍を使い分けることで向上すると思います。

②この単元で身に付けた資質・能力は日常生活・社会のどのような場面でどのように役立たせることができるか。

【身に付けた資質・能力】

- ・読み手からのアドバイスなどを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすこと

- ・複数の情報を整理しながら適切な情報を得る力

【役立つ場面】

- ・読み手からのアドバイスなどを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすことは、自分のレポートをより良くしたり、様々な視点で物事を考えたりするときに役立つと考えます。

- ・複数の情報を整理しながら適切な情報を得る力は上と同様にレポートそして何かをプレゼンなどで適切な資料が必要になったときに役立つと考えます。

【その理由（役立つと考える根拠）】

- ・自分が読み手に自分の文章を見てもらうと、自分では気づくことができなかった課題が見つかること

が多いからです。

・相手に伝わりやすくするには適切な情報が必要で、それを調べるためには複数の情報を整理しながら適切な情報を得る力が必要になると思ったからです。

5. その他

○担当教員へ伝えたいことや質問、疑問などがありましたらご記入ください。

・